

第2章を始めるにあたって

訳主: 第2章にはまず、オンラインポーカーの歴史や、ライブとオンラインの違いなどが述べられていましたが、それらはすべて省略させていただきます。

続いてHUDで使われるスタッツの解説がありました。そちらも省略させていただきます。

スタッツの内容に関する詳しい説明が欲しい方は、フィルゴードンのデジタルポーカー(ゴールドブック)や、ブログ「桃太郎侍のHM使い方ガイド」(<http://hmguideblog.fc2.com/>)などをご覧ください。

また著者であるハリントン氏はポーカートラッカーを使っていますので、HMとは若干HUDの表記が異なります。以下にハリントン氏の推奨スタッツとHMでの表記を載せておきます。

JeffJ/180/+6

VP12/PF8/AS18/FB85

3B 3/F3 85/AF4/5/1/0.8

CB85/FC60/FT80

W\$F42/WtS22/W\$S57

Poker Tracker での表記

名前/ハンド数/利益(BB/100)

VPIP/VFR/Attmpt to Steal/Fold BigBlind to Steal

3Bet Preflop/Fold to 3Bet Preflop/Total AgressionFactor/Flop/Turn/River

ContinuationBet Flop/Fold to Cbet flop/Fold to Cbet Turn

Win Money When Seeing Flop/Went to Showdown/Win Money at Showdown

HMでの表記

名前/ハンド数/NetWon(\$)

VPIP/PFR/RFISteal TOT/Fold to Steal

3-Bet/Fold to 3Bet/Postflop Agg%/Flop Agg%/Turn Agg%/River Agg%

CBet/Flop Fold to CB/Turn Fold to CBet

フロップを見たときの勝率は該当するものが探せませんでした。/WTSD%/W\$SD%

サンプルHUD No.1

25NL6 - Max

JeffJ/180/+6

VP12/PF8/AS18/FB85

3B 3/F3 85/AF4/5/1/0.8

CB85/FC60/FT80

W\$F42/WtS22/W\$S57

このスタッツから何が読み取れるでしょうか？

まず最初に分かるのは、彼は非常にタイトなプレイヤーと言う事です。

VP/IPは12、PF/Rは8です。かれはあまり多くは参加しませんが、参加する時はほぼレイズして来ます。

彼はペアやハイカードなどで参加する事が多いですが、たまにスーテッドコネクターなどで参加する事もあります。(訳注:これはスタッツから得られるデータではありません。)

彼のウインレートは+6BB/100BBで、確実な利益を得ている様です。

スティールに関する項目を見ると、AS18は低い方です。これは彼がBTNやCOでも、かなり良い手でなければ参加しない事をしてしています。つまり彼はポジションの有利さを完璧には理解していないようです。

もし私が彼なら、BTNとCOではもっと頻りにレイズするのでASはこれより高くなります。

ポジションを良く理解しているプレイヤーは、インポジションではより弱いハンドで、アウトポジションではより強い手で参加します。良いポジションがハンドの弱さを補ってくれる事を知っているからです。

しかしそれはJeffJには当てはまりません。彼はポジションが良くても悪くても、そこそこのハンドで参加して来ます。

3行目の3Bet率にも特徴があります。

彼の3Bet率は3%と、とても低いです。この事は彼がプレミアムハンド(QQ+, AK等)でしか3Betしない事を示しています。

また3Betに対するフォールド率も85%と非常に高くなっています。もしあなたが彼に3Betした時、かなり強いハンド以外はフォールドするでしょう。

3行目のアグレッシブ係数(AF)は4と高いですが、これには誤解があります。

彼のように、強いハンドでしかプレイしない場合、フロップ後もトップペアやオーバーカードなどでそれなりの強さを保っています。

現に、彼のフロップでのAFは5で、Cbet率は85%にもなります。

しかし、ターンとリバーでのAFを見てください。明らかに数値が落ちていきます。これは、彼が相手にコールされた時は、かなり強い手以外ではベットし続ける事はしないと言う事です。

同じ特徴が4行目のCbetされた時のフォールド率(FC)にも出ています。FCは60%で、さらにターンでのCbetフォールド率(TF)は80%にもなります。つまりかなり手が良いとき以外はプレイを続けないのです。

以上の点から彼はやや保守的で、自分がリードを持っていない時はすぐにフォールドする傾向がある様です。

5行目のスタッツ、W\$F(フロップを見た際の勝率)42%は、強いスターティングハンドでプレイしている割には低いです。

これは相手が強く勝負をかけて来た時には、ナッツに近いハンド以外は諦めてしまうと言う事を物語っています。

WtS(ショウダウンまで行割合)が22%と低いのも、そのためです。

ショウダウンでの勝率(W\$S)は57%と高いですが、これも彼がベストハンドでしかショウダウンしないので当然でしょう。

ゲームプラン

我々のJeffJに対する戦略はシンプルです。

徹底的にアグレッシブに攻める事です。

彼は非常に手を絞って参加していますが、自分の手がベストであると言う確言なしにはプレイを続ける自信がありません。

我々は3Betをする事で、そこを突きます。

彼のPFR(8%)とFto3bet(85%)を考えると、彼が3Betにコールするのは1.2%です。

$$0.08 \times 0.15 = 0.012$$

このレンジはちょうどAAとKKと同じです。

我々はどんなハンドでも3Betし、もし彼が4Betして来たらフォールドします。それだけで利益が出るのです。

なんて簡単なお仕事でしょう！

フロップ後のプレイも簡単です。

彼は多くのCbetを打って来ますが、強いハンド無しにはショウダウンまではプレイしません。

よって我々は彼のCbetにはフロート(手が出来てなくともコールする事)します。

そしてターンで彼がチェックしたらベットします。

彼のターンでのASは1です。強い手無しにダブルバレルを打って来る事はありません。

彼のこの極端なプレイはとても脆弱であり、我々はそのこにつけ込む事が出来ます。

しかし、こんなに簡単に勝てるのに、どうしてJeffは勝ち組なのでしょう？

その答えはステークスにあります。

マイクロステークスではタイトであれば、それなりの利益が出ます。

彼はもの凄くルールだったり、パッシブだったりするプレイヤーから稼いでいるのです。

我々が少しばかり、それを戴いても大丈夫でしょう。

しかしもしJeffが、もっと上のステークスに行ったら、そんなルールやパッシブなプレイヤーはいなくなり、もっとアグレッシブなプレイヤーが増えます。

そしてHUDを使って、我々と同じ所に目を付けるでしょう。

そのレベルではJeffは勝つ事は出来ません。そしてもっと上のレベルになれば、叩き潰されてしまうでしょう。

サンプルHUD No.2

Lusious/120/-10

VP40/PF8/AS10/FB60

3B1/F3 20/AF1.2/1.5/1/0.8

CB50/FC53/FT60

W\$F38/WtS33/W\$S45

次も同じ25NLのプレイヤーですが、先程のJeffとはかなり違ってきます。

サンプルハンド数が120とまだ十分ではありませんが、Lusiousには際立った特徴があります。

彼のVPIP(40)とPFR(8)の数値は、彼がリースパッシブプレイヤーだと言う事を如実に物語っています。彼は40%ものハンドで参加しますが、レイズするのは8%だけです。

彼は何か出来そうなハンドなら直ぐにフロップを見に行きますが、レイズするのはプレミアムハンドの時だけです。

彼のASは10%ととても低く、ポジションがあっても、強いハンドでないとリードを取りに行きません。

しかし、気をつけなければならないのが、彼はフロップで責められてもあまり降りません。

彼のFTは60%です。これは彼がBBの時、スティールを試みても、40%はコールして来ると言う事です。

同じ事はVPIPにも表れています。あなたが何をしても、まったく意に解さず、自分のプレイしたいハンドをプレイします。

F3が20%と言うのもそのためです。あなたがいくらハンドの強さを主張しても、彼はフォールドしません。

彼のAFは1.2、1.5、1、0.8と低く、フロップ後もパッシブなプレイを続けます。

かなり強いハンドでなければ自分からはベットして行く事はありません。

CBも50%と低くなっています。

彼のプレイ結果を示すスタッツから明らかになる事があります。

彼のはWtS33%ととても高いですが、はW\$F38%、はW\$S45%と低くなっています。

これは彼がショウダウン指向が高いものの結果は今一つだと言う事を示しています。

彼は恐らくフロップで何かペアやドローが出来ていけばコールし、ショウダウンまでコールし続けます。

VPIP/PFRの高さとW\$Fの低さの食い違いにも注目です。

もしあなたがプリフロップでコールばかりして、スティールしないなら、勝つことは困難です。ランダムなフロップを当てた時だけしか勝てないのですから。そして、プリフロップでアグレッシブにプレイしないと、フロップ後に勝つ事はもっと難しくなります。

ゲームプラン

LusiousにはJeffとはまた違った弱点があります。

彼は典型的なリースパッシブプレイヤーで、**コーリングステーション**と呼ばれています。

彼らは、自分のハンドがショウダウンで勝つか負けるかと言う事に興味があり、そのために払うコストについては無頓着です。

これらのプレイヤーに勝つのは難しくはありませんが、ただアグレッシブにプレイするだけではいけません。

まず気をつけなくてはならないのが、この相手にあまりブラフしてはいけません。

3Betも強いハンドでしか行ってはいけません。

我々がレイザーの時、フロップをミスしてもCBetをしますが、彼がコールしたらセカンドバレルは打ってはいけません。

彼は恐らく何かを持っています。そして降りる事もないでしょう。

そしてもしレイズして来たら、中途半端な強さの手はフォールドするのが安全です。

Lusiousに対しては、フロップでTPTKなどの良い手が出来た時に稼ぐ事が出来ます。

我々のベットに彼はローペアやトップペアと弱いキッカー、ドローなどでコールしてくれます。我々はバリューベットするだけで、最後まで確実な利益を得る事が出来るのです。

そう言うと簡単に聞こえますが、問題点もあります。

もし我々がフロップでトップとボトムのツーペアなどをヒットさせたとします。そしてベットした所、彼がレイズして来たらどうしたら良いのでしょうか？

彼の手はセットや我々のよりも良いツーペアなのでしょうか、それとも彼がTPなどをベストハンドだと思っているだけなのでしょうか？

これは難しい状況です。

ただ一つ言えるのは、彼がこの状況でセミブラフをする事はないと言う事です。もしセミブラフをする様な相手なら、AFIはもっと高くなっているはずで。

Lusciousの様なプレイヤーはマイクロステークスではとてもおいしい相手です。

彼らの様なプレイヤーはとても多く、長期的には確実に負けて行きます。

しかしこの様なプレイヤーはスモールステークスでは減って行きます。スモールはマイクロステークスを卒業した人達が挑戦する場だからです。

サンプルHUD No.3

Tuyoneko/210/+8

VP25/PF20/AS45/FB75

3B10/F3 75/AF5/6/4/2

CB90/FC65/FT75

W\$F53/WtS23/W\$S48

200NLにレベルアップしました。

ここで出会ったTuyonekoはまた新しいキャラクターです。彼はかなり強いプレイヤーですが、その秘密は何なのでしょう？

まず第一に彼のHUDから窺えるのは、はともアグレッシブだと言う事です。

彼のVPIP/PFRは25 / 20です。これは彼が参加する時は、ほぼレイズすると言う事です。

そしてASは45%とこれも非常に高くなっています。

これは彼がCOやBTNにいる時、前に参加者がいなければ、半分位はレイズして来ると言う事です。

そして3Bet率も10%とこれまでのプレイヤーより高くなっています。

もし彼の前にレイザーがいたら、リレイズしてプレミアハンドなのかを確かめようとしています。

10%のレンジとは、スモール~ミディアムペア、AJoやQJsなども入っているのです。

ポストフロップでも同じです。

彼のAFはトータルで5と、とても高いですが、フロップでは6となり、CBも90%にもなります。

彼がプリフロップでリードを取っている時は、ほぼCbetを打って来ます。

興味深いのはターンとリバーのAFです。(4と2)

これも高い数値であり、これは彼がポットコントロールを行わないと言う事です。

彼はバレルを打ち続け、常にフォールドさせようとプレッシャーをかけてきます。

彼のようなアグレッシブプレイヤーと会った時は、どうすれば良いのでしょうか？

我々は彼のFB(75%)とFC(65%)FT(75%)に注目します。

これは至って普通の数値です。

彼は自分にベッティングリードがない時は、普通にハンドの強さで判断していると言う事です。

つまり無理に攻めてばかりいるのではなく、また弱い手でずるずるプレイしている訳でもありません。

彼の成績を表すスタッツにもアグレッシブさが出ています。

彼のW\$Fは(53%)と高いですが、これはショウダウンまでに相手をフォールドさせているからで、ショウダウンまで行事はWtS23%と多くはありません。

また実際にショウダウンした場合の勝率は(W\$S)48%と低くなっています。

これは弱いハンドはそれ以前の段階で振り落とされ、強いハンドだけが残るからです。

ゲームプラン

彼はJeffやLusiousよりもかなり強いプレイヤーです。

我々が彼と対戦する時は、強いハンドで罠にかけます。

彼のフロップ後のスタッツによれば、彼はチェックやコールを弱気のサインと見なしてポットを取りに来ます。(これは素直なプレイヤーに対しては正しいやり方です。)

しかし一方で、強さを主張して来たプレイヤーに対しては普通にフォールドします。

我々の取る戦略は2つあります。

1. まず強いハンドではスロープレイをして、彼からのベットを引き出します。
2. フロップやターンでは本当に強い手とブラフを織り交ぜてレイズします。

しかし彼は良いプレイヤーなので、しばらくすればそれに対応してアグレッシブさを減らして来るでしょう。

しかしそうなれば今度はドローハンドなどで参加し、安ドローを引く事が出来る様になります。

対戦相手のノートを取る

オンラインでのプレイがライブよりも進んでいる所には、相手に対するメモをすぐに取り、またそれを保存しておけると言う点があげられます。

ほとんどのサイトでは、いつでも「ノート」ウィンドウにアクセス出来ます。

ノートはHUDと組み合わせると強力なツールとなります。

ここで我々はいったいどんな事をメモしたら良いかを考えてみましょう。

まず第一のポイントとして、すでにHUDで得られている情報はメモする必要はないと言う事です。

VPIP/PFRが40 / 34の時に、スーパーアグロ！などと書く必要はありません。

第二に、客観的な事実だけをメモする事です。

彼がどんなハンドでオールインし、どんなハンドでリブしたのかなどです。

そして彼がショウダウンしたカードを見て、彼のアクションを一から思い返してみます。

実際にカードを見てみないと、HUDから得られたデータが正しいものかを確認する事が出来ません。

例：50NL6 - Maxです。

2人のプレイヤーにはHUDのデータがありますが、他の3人はありません。

その内1人のプレイヤーがオープンレイズに3Betし、3Betされたプレイヤーは4Betオールインしました。

3Betしたプレイヤーはこれにコール。

オールインしたプレイヤーAのハンド:KK

コールしたプレイヤーBのハンド:ATo

フロップでAが落ちて、プレイヤーBが勝ちました。

この時に非常に重要なノートが取れます。

プレイヤーAのノートには、

PF:4BAi=KK

と記入します。

PFはプリフロップ、4BAiは4Betオールインです。

今後もしプレイヤーAがAQsで4Betオールインしたのを目撃した場合

PF:4BAi=KK, AQs

と付け加えます。

KKでオールインすると言う情報はそれ程重要ではありません。

むしろこの状況でオールインしない方が驚いてしまいます。

しかし、プレイヤーBの方の情報は非常に有用です。

プレイヤーBはAToで3Betし、またオールインにコールしました。

この情報は次の様にメモします。

PF:3B=ATo CAi=ATo

CAiはコールオールインです。

我々はここで2つの重要な情報を得られました。それは彼がAToは3Betするのに十分な強さで、またオールインにもコール出来ると思っていると言う事です。

もちろんこのノートだけで、彼をルーズなプレイヤーだと決めつける事は出来ません。

プレイヤーAとプレイヤーBは何度も対戦しており、実はAの方がルーズなプレイヤーでAToでも勝ると判断したのかも知りません。(もちろんプレイヤーBが本当にルーズなだけの可能性も高いですが。)

我々は幸運にも、このノートをすぐに使う時がやって来ました。

BTNであなたのハンドはJJ

プレイヤーBが1.5\$にオープンレイズ、あなたは4.5\$に3Betしました。

するとプレイヤーBはオールインして来ました。

さてどうしたら良いでしょう？

もし相手の情報がまったくなかったら、困った事になります。

もし彼のプッシュレンジがタイトで、QQ+, AKなどである場合、あなたのJJの勝率は36%です。

それらのレンジにはフォールドしなくてはなりません。

しかし我々は彼のレンジにAToが含まれている事を知っています。

それから推測するに、彼のレンジはAA~77、ATo+と言った所でしょう。そのレンジに対してはJJの勝率は59%になるのでコール出来ます。

もっと詳細なノートの取り方

まず1行目にメモするのはハンドの情報ではありません。

1. このプレイヤーは1度に何テーブルでプレイしているのか。
2. 平均バイイン額はいくらか
3. オートリバイしているかどうか

まず1番を知るにはFind Player機能を使用します。

マルチテーブルでプレイしているプレイヤーは機械的なポーカーをします。

多くはタイトレンジで、ペアやプレミアハンドなどでプレイします。3betは本当に強い手の時だけです。

彼等からブラインドをスティールするのは簡単です。

彼等はあまり良くないハンドの時は、foldボタンにチェックを入れて、また別のテーブルに移ってしまうからです。

ローステークスでは、それは悪いやり方ではありません。

弱いプレイヤーを相手にするのはそれで十分ですし、実際勝ててもいるでしょう。

しかし彼等のプレイは機械的で、そこに付け込む事が出来ます。

ただしハイステークスのマルチプレイヤーには、そうは行きません。

彼等はその状況に応じて様々なプレイスタイルを取る事が出来るからです。

2. バイイン額は人によって変わります。MAXバイイン、MAXの半分、ミニマムバイイン(20BB)などです。

あなたはこの内のミニマムバイインのプレイヤーに注意しなければなりません。

この手のプレイヤーは弱い事が多く、ショートスタック戦略を用いて来ます。

彼等が同じテーブルにいる時は、しっかりとそれに対応しなければなりません。

3. オートリバイ機能はだいたいどのサイトにも装備されています。

強いプレイヤーは、それを使用する事で、利益を最大に得られる事を分かっています。

当然、リバイを使用していないプレイヤーよりも、警戒する必要があります。

プリフロップのノート

プリフロップでは、前述のどんなハンドで3betやオールインしたのかをメモします。

さらに相手がリンプをした時の情報もメモします。

リンプして、レイズされた時に、コールするのかフォールドするのかを記録するのです。

リンプして、コールした時はこの様にメモします。

PF:LFC = 0 / 1

(プリフロップ:リンプ・フォールド・コール = 0回 / 1回)

リンプして、レイズにコールする人はまったくセンスがありません。

そしてフォールドするのも同様にセンスがありません。

このLFCは弱いプレイヤーを見分ける簡単な指標になるでしょう。

フロップ後全般のノート

フロップ後全般の相手のプレイをメモします。

1. どの程度の強さのハンドでショウダウンまで行くのか？
2. ベットサイズに特徴はあるか？

例: 200NL, BTN(フルスタック)

ハンド: 8h 8d

UTG(スタック50BB)が6 \$ にレイズ。

あなたはコールし、他はフォールド。

ポット15 \$

フロップ: Ah 8c 3d

UTGは9 \$ ベット。あなたはターンでも相手にベットさせるため、コールします。

ポット85 \$

ターン: 7s

UTGは17 \$ ベットし、あなたは40 \$ にレイズ。

UTGはコールしました。

ポット113 \$

この時点で彼はすでにポットコミットしています。

リバー: Td

UTGはチェックし、あなたはオールイン。

UTGはコールしました。

UTGハンド: Ac Qd

あなたは勝利しました。

このプレイの結果は次の様にメモします。

PostF: ATW = TPGK(50BB)

ポストフロップ: オールザウェイ(最後まで) = トップペアグッドキッカー(スタック50BB)

これにより彼はTPGKはフルスタックをリスクにさらす価値があると考えている事が分かりました。

我々がドローハンドを持っている時は、大きなインブライドオッズが得られる事になります。

例2: 100NL BTN

ハンド: 8c 8d

VPIP / PFR(65 / 20)のCOがリンプ。

あなたは4 \$ にレイズし、COはコールしました。

彼のLFC=1 / 7になりました。

ポット9.5 \$

フロップ: 7d 7c 2h

彼のPFRから考えると、オーバーペアを持っている可能性は低くそうですが、ハンドに7が含まれている事はあるかも知れませ
ん。

するとCOは2 \$をベット。(ドンク)

これはかなり小さいベットです。

弱いプレイヤーはなるべく安くポットを獲得するために、良くこの様な小さいベットをします。

ポット11.. 5 \$

あなたが8 \$にレイズすると、彼はすぐにフォールドしました。

この時のノートは次の様になります。

PostF: smbet = weak

ポストフロップ: スモールベット = 弱い

もし彼がその後 強いハンドでスモールベットした場合は、

PostF: smbet = weak or trap

とメモします。

フロップのノート

フロップでは次の事をメモします。

1. フロップでオールインした時 またはオールインにコールした時のハンド
2. 強いハンドでスロープレイする割合
3. ドローハンドのプレイの仕方
4. ドンクベットした時のハンド

1のメモの取り方

F: AI = S+, TPTK, 2P. CAI = S+

(フロップ: オールイン = セット以上 トップペアトップキッカー, 2ペア コールオールイン: セット以上)

もし相手がセカンドペアやサードペアでオールインしたのを見た場合は、2nP、3rPと付け加えます。
オーバーペアはOVP、アンダーペアはUPです。

2のメモの取り方

もし彼がスロープレイをした時は

F: SP = 1 / 0 と書きます。

(フロップ: スロープレイ = 1回 / 0回)

後でスロープレイせずにベットした場合は

F: SP = 1 / 1 となります。

これは相手がどのくらいトリッキーかを測る上で役立ちます。

3はドローハンドの時に、チェック/コールするのか、セミブラフでベットしてくるのかをメモします。

F: DR = 3 / 1

(フロップ: ドローハンド = 3回セミブラフ / 1回チェックコール)

この数値が高い程 アグレッシブだと言えます。

4どんな手でドンクベットしたのかをメモします。

F: DB = 2nP

(フロップ: ドンクベット = セカンドペアだった)

弱いプレイヤーは、何かヒットしていたらドンクし、ノーヒットの時はチェックする事が多いです。

ターンでのノート

ターンでは次の2点をメモします。

1. どんなハンドでオールインしたか、またはコールしたか？
2. 何回くらいポットコントロールをしたか？

1. についてはプリフロップなどと同じです。
2. は中程度の強さのハンドで、ベットせずにチェック/コールした回数をメモします。

T:PC = 1/0

ターン:ポットコントロール = 1回チェックコール/0回ベット

中程度の強さのハンドとは、ボードにより異なります。TPTKなどでもボードにドローハンドの可能性がある時などは、中程度の強さになります。

リバーでのノート

リバーでは相手のベットサイズとハンドに関する事をメモします。

オールインした時はナッツだったのか？

ビッグベットは強いハンドなのか、それともブラフなのか？

ポットコントロールはするのか？それとも中程度のハンドで突っ込んで来るのか？

などです。

リバーでの情報は非常に大切です。将来的に必ず役に立つはずで。

マイクロステークスでの3Betと4Bet

オンラインのマイクロステークスは、昔ながらのライブプレイと似ています。

3Betと4Betは滅多になく、もしあればそれはかなり強いハンドを表しています。

ライト3Betはまだそれ程浸透しておらず、多くのマイクロプレイヤーは弱いハンドでルーズコールやチェックをしますが、リレイズするのはモンスターハンドの事が大半です。

彼等の目的はポットを獲得する事ではなく、「ポーカーをする事」です。フロップを見て、大きな手を作って勝利したいのです。

ライト3Betは、それとは一線を画する行いですので、見る機会はありません。

一般に、マイクロプレイヤーの3Betレンジは3%程です。

これは非常にタイトなレンジで、QQ + とAK位しか入りません。

中にはもっとタイトに1%や2%のレンジでしか3Betをしないプレイヤーもいます。

その様なプレイヤーの3Betに対して、あなたのハンドの勝率は次の様になります。

	1%レンジ	2%レンジ	3%レンジ
QQ	19%	40%	40%
JJ	19%	40%	36%
TT	19%	40%	36%
88	19%	39%	36%
AKs	23%	40%	42%
AKo	18%	37%	39%
AQs	25%	28%	29%
AJs	26%	28%	29%
JTs	20%	32%	29%
87s	22%	33%	31%

この表にはいくつか不思議な所があります。

例えばJJは2%レンジの相手の方が、3%レンジの相手より勝率が上がります。

これは2%レンジの中にはAKの割合が多いからです。AKに対してはJJの勝率は高くなります。

同じ様に1%レンジに対しては、AKoがAQsよりも弱くなります。

1%レンジvsAKの時、Kが落ちて両者の勝率はほとんど変わりません。

しかし、Qが落ちた時に1%レンジにはQを含むハンドがほとんどないので、AQの勝率は高くなります。

3Betのポイント

3Betにはあなたのノートが非常に重要な役割を持ちます。

もし3Betの後でショウダウンがあった場合は、その時のハンドを必ず記録しておきましょう。

この記録によって相手のレンジを推測する事が出来るようになります。

そして、何のデータもない相手から3Betされた時は次のルールに従って下さい。

アンラウンプレイヤーから3Betされた場合はブラフではないと思え

4Betや5Bet、オールインはAAかKK

AQ以下とJJ以下はフォールド

AKとQQはポジションがあればコール、なければフォールド

この最後のルールは馬鹿げた程タイト過ぎると思われるかも知れませんが、ハイステークスでは絶対に必要なルールです。

前述の表の様に、これらのハンドはタイトレンジにはあまり強みありません。

しかしその後で、相手のレンジがそれよりも広い事が分かったら、プレイ出来るようになります。

相手のデータはあるが、ノートがない時はどの様に3Betしたら良いのでしょうか？

この時は相手のPFRとFold to 3Bet(F3)に注目します。

1. PFRが低い時(0~9%)

9%のレンジにはAA~55、ブロードウェイカードなどが含まれます。

このレンジのプレイヤーに3Betしても、元々強いハンドでしかレイズしないため、フォールドする事はあまりありません。

相手のF3が40~50%の時は、3Betはプレミアハンドのみで行います。(AK~TT、AK、AQのみ)

しかしF3が70%以上あるなら、3Betレンジを20~25%に広げても十分利益が出ます。

しかし、もしコールされ、フロップでも何もヒットしなかった場合は深息してはいけません。(プレミアペアを除く)

2. PFR10~20%の場合

20%のオープンレンジにはすべてのペアとブロードウェイカード、スーテッドコネクターなどが含まれます。

この場合もF3レンジが70%以上なら多くのハンドで3Betしましょう。

40~50%なら、こちらが上位5%のハンド(99+, AJs+, AQo+)の時だけで3Betします。

3. PFR20%以上

このレンジの相手に対しての3Betは理論的には効果があるのですが、マイクロの場合そうも言い切れません。

なぜなら、彼等は普段からとにかくベットして相手をフォールドさせるプレイを取っているため、頻りにコールして来ます。

F3も低い事が多いです。

このような相手の場合、3Betは本当にバリューのあるハンドでのみ、行った方が良いでしょう。

PFRRのデータはあるが、F3のデータがない場合

これは良くある状況です。

この場合、私は次の様にしていきます。

3Betは相手のレンジ% × 25%のハンドでのみ行う

例えば、相手が通常20%のレンジでオープンする時、3Betは

$20\% (0.2) \times 25\% (0.25) = 5\%$ となります。

この5%とは、すべてのハンドの上位5%と言う意味です。

例1 25NL, BTN

COが0.8\$にオープンレイズ。

彼のVPIP / PFRRは40 / 27です。

F3はサンプルが2ハンドしかありません。(50%)

あなたは、彼がレイトポジションからはレンジを広げてオープンする事を知っています。

PFRRは27ですが、COからは恐らく36%位でレイズするのではないのでしょうか。

上記の計算によると、あなたは $36\% \times 25\% = 9\%$ のレンジで3Betして行けます。

上位9%のレンジとは、

AA ~ 66

AKs ~ A9s

AKo ~ ATo となります。

この中の1番弱いハンドをPokerStoveなどで調べてみると、次の様な結果が出ます。

(訳注: PokerStoveは相手のレンジに対してのハンドの勝率が分かるフリーソフトです。

このソフトの使い方を説明したブログがあったので、詳しくは<http://pokerasobimedia.com/pokerstove>をご覧ください。)

66の勝率 55%

A9sの勝率 56%

AToの勝率 57%

この3Betに抵抗するのは中々難しいです。抵抗する時は、3Betをしかける時以上に気をつけなくてはなりません。

もしあなたのハンドが頻りにドミネートされている様なら、それなりに強い手でも、すぐにフォールドしなくてはなりません。

例2: 10NL, CO

ハンド: As Qs

あなたは0.35\$にオープンレイズ。するとBTNが1.35\$に3Bet。他はフォールド。

BTNのデータは18ハンドで、PFRR11。3Betに関するデータはなし。

さてどうしたら良いでしょう？

あなたはすぐにフォールドしなくてはなりません。

前述の表の様に、AQはタイトな3Betレンジに対して30%以下の勝率しかありません。

加えてあなたにはポジションもないのです。

しかし、その後彼がライト3Betを頻繁にするのが分かれば、AQsは十分プレイ出来るハンドです。

マイクロステークスではライト3ベッターはまだまだ少数ですので、その確信が得られるまではフォールドしましょう。

リンパーに対するアイソレーションレイズ

マイクロステークスで見かける最も多いミスは、弱いハンドでリンプする事です。

例えばルーズパッシブプレイヤーがMPにいたとします。

VPIP / PFRは45 / 7です。

彼のハンド: 9h 7h

彼はこのハンドでフラッシュやストレートを狙えると思います。

しかしローカード2枚なので、レイズする程強くないと考えました。

そんな時に彼はリンプします。

このようなパッシブリンパーを打ちのめすには、他に誰も手だししない様にレイズする事です。

しかし、どんなハンドでも良いと言う訳ではありません。

Kd Tc, 9s 8s の様な何かしらのバリューのあるハンドで行って下さい。

この方法はアイソレーションレイズと呼ばれ、これには3つの効果があります。

1. 他のプレイヤーにプレッシャーをかける事により、本来なら参加していたであろう強いハンドを持ったプレイヤーを降ろします。

それにより、リンパーに対しポジションのある状態で対決出来ます。

そしてもしリンパーがフォールドしたら、そのままポットを獲得出来ます。

2. レイズする事により、強いハンドを主張出来ます。それによりポジションのないブラインドは参加しにくくなります。

3. リンパーに対してイニシアチブを取る事が出来るので、Cbetする事が非常に効果的になります。

リンパーに対して勝利するパターンは次のようになります。

プリフロップでリンパーがフォールド

Cbetにリンパーがフォールド

Cbetにコールされても、フロップやその後のストリートで何かをヒットさせて勝利する

アイソレーションレイズは弱い手で参加して来るリンパーには、非常に高い勝率が見込めます。

例1: 10NL, BTN

ハンド: Qc Th

VPIP / PFR 40 / 8のMPがリンプ。COはフォールド。

あなたにはポジションとバリューのあるハンドがあります。

PFR 8は彼が良いハンドではレイズする事を表しています。

リンプは彼のハンドが対して強くないと言っている様なものです。

(むしろ40 / 0の様なスタッツの方が危険です。)

そこで、あなたは0.4\$にレイズ。

ブラインドはフォールドし、MPIはコールしました。
ポット0.95 \$

フロップ: Kh 8c 4d
MPIはチェックしました。

これはCbetを打つのに最も適した状況です。
あなたは0.6 \$をベットし、MPIはフォールドしました。
しかし、リンパーがKと弱いキッカーで参加するのは良くあります。
(AKやKQならレイズしているでしょう。)
もしここでコールされたら、あなたはそれ以上ベットしてはいけません。

アイソレーションレイズはどの位のレンジで行ったら良いのでしょうか？
それはあなたが、どの位相手の事を知っているかによります。
彼が新しくテーブルに入って来たのなら、COやBTNの時と同じレンジでレイズします。
だいたい25~35%のレンジになります。
もし彼のリンパーフォールド率やFold to Cbet率などが高い様なら、もっとレンジを広げて良いでしょう。

例2: 25NL, BTN

ハンド: 3h 3s

UTGがリンプしました。彼のVPP/PFRは18/12です。

今回はさっきと事情が異なります。

彼はルーズパッシブプレイヤーではありません。

彼のスタッツはタイトアグレッシブに見えます。

恐らく彼のハンドは、スモールペアやスーテッドコネクターなどでしょう。

しかし、ここでも同じ様にレイズします。

プレイヤーの中には、この様なハンドはポジションのない状態ではインプライドオッズがない事をちゃんと理解している人もいます。

そのため、こちらがベットすればフォールドする事が多いです。

また、ただフロップが見たいだけの人もいます。

どちらにしても、あなたの方が有利です。

あなたは0.9 \$レイズし、ブラインドはフォールドしました。

UTGはコールし、ポットは2.15 \$。

フロップ: Ah Qs 4s

UTGはチェック。

このフロップは恐らく相手のレンジからは外れており、しかもあなたのレンジにはヒットしている様に見えるでしょう。

そこでCbetを打って、ハイカードを持っている事を主張します。

あなたが1.4 \$ベットすると、相手はフォールドしました。

AKのプレイの仕方

AKはとても強いハンドですが、同時にビッグスリックとも呼ばれています。(スリックは滑りやすいと言う意味)しかしその価値は相手のプレイによって変わってきます。

マイクロステークスにおいてAKはまるでカメレオンの様にその強さが変わります。

いくつか例を見てみましょう。

あなたはAKでオープンレイズ。

そして8c 8sにコールされたとします。

フロップ: Kd 7c 3d

あなたはトップペアで、相手はアンダーペアです。

マイクロステークスでは、フロップでベットされてコールされた場合、その後のターンとリバーでもコールしてくれる事が期待出来ます。

しかしハイステークスでは3回コールされたら、TPTKなどのハンドはまず負けてしまいます。

小さなハンドは小さなポットの格言通り、あなたは途中でスローダウンしなければなりません。

同じシチュエーションで、フロップをミスした時の事を考えてみます。

フロップ: 9d 7s 3d

この場合、マイクロの方がハイステークスよりも負けやすくなります。

なぜならマイクロのプレイヤーはアーリーポジションからのレイズはAK(などのハイカード)だと決めつける傾向があるからです。これは実際にあなたがAKの様なハンドでレイズしているのですから、あなたが間違っているではありません。

この場合、相手のハンドに何かペアが出来ていたら、あなたのBetにフォールドする事はありません。

この様な時は、ターンやリバーでカードが落ちなければ、もうそれ以上ベットしてはいけません。

ブラインドスチール

COやBTNでレイズしてブラインドをスチールする事はポジション的に有利なため、とても利益の出るプレイです。

マイクロステークスのプレイヤーはこうしたスチールに無頓着なため、非常に利益が出ます。

たとえプリフロップでコールされたとしても、フロップですぐ降りてしまう人もいます。

そのため、フロップでのC betは必ず打ちます。

このプリフロップでのレイズとフロップでのC betのコンビネーションは確かな利益をもたらしてくれるでしょう。

しかしCOやBTNでタイトに行かなければならない事もあります。

それを知るためにはBBの2つのスタッツに注目します。

Fold bb to stealとFold to Cbetの2つです。

Fold bb to stealが60%以下の時とFold to Cbetが50%以下の時は、相手はブラインドを守ろうとして来ます。

この場合はオープンレンジをタイトにする必要があります。

しかし、タイトにし過ぎる必要はありません。あなたにはポジションがあるのですから。

例：10NL、BTN

ハンド：6c 5d

さて、どうプレイしますか？

65oはかなり微妙なハンドです。あなたのオープンレンジが40%でも切り捨てられるハンドでしょう。

それではBBのスタッツを見てみましょう。

プレイヤーA/80/-2

VP12/PF6/AS16/FB80

3B0/F3 40/AF0.7/1/1/0

CB100/FC30/FT50

W\$F38/WtS25/W\$S60

このBBは完璧な標的ですよ。

彼のFBは80%とかなり高いです。これならば、たとえどんなハンドで仕掛けても利益が出ます。

しかしもしコールされたら、少し厄介な事になります。

彼のFold to Cbetは30%です。これは彼が本当に良いハンドの時だけコールするからです。

もし彼がコールし、我々がフロップをミスしていたらすぐにギブアップして、普段よりC betの頻度を下げなくてはなりません。

プレイヤーB/80/+3

VP30/PF8/AS35/FB50

3B0/F3 75/AF1.2/2/1/0.5

CB50/FC70/FT80

W\$F35/WtS20/W\$S50

次の相手の場合は先程よりもコールされる事が多くなります。(50%)
しかし、フロップ後にもう一度チャンスがあります。
彼のFold to Cbetは70%、Fold to Turn Cbetは80%です。
我々はCbet とさらにダブルバレルを打つ準備をしなくてはなりません。

最後に

実はこの第二章は、元々の第二章と第四章の中から、すぐに役立つようなパートを抜粋して翻訳したものです。本書はかなりボリュームがあり、他にも

リングゲームでのシートの選択の仕方。

すぐにオールインして来るプレイヤーへの対策

オンラインポーカーサイトの選び方

トラッププレイの仕方

などがありました。時間の都合もあり割愛させていただきました。

もしかして時間があれば追加するかも知れませんが、今の所未定です。